

NPO 法人岡崎がくどうの会

## 放課後児童支援員キャリアアップ研修レポート

【クラブ】(たけのこクラブ) 【名前】( 岩井 里真 )

### テーマ【保護者との連携と支援】

市外での研修で現地はほぼ初めてだったので、どんな感じかと楽しみにしていました。今回の研修は6名で、とても少なくアットホームに、グループワーク以外でも皆さんの意見を聞きながら進んでいくことができました。

講義の冒頭に高阪先生から、『放課後児童クラブってどんなところ?』考えて書いてみてください。という問いかけがあり、その問いかけに対して、それなりにイメージや思いを書くことができましたが2つ目の、『保護者ってどんなイメージ』という問いかけに、自分なりのイメージや考えがすぐには、でてきませんでした。皆さんのイメージには、『働いて疲れて帰ってきている。』『我が子が一番大切。』などありました。そこから色々考え『(保育士や児童厚生員、学童保育指導員の経験を経て)保護者には色々な方がいて、求めていることも様々である』というイメージが自分なりに浮かびました。

講義を受けていく中で、高阪先生は、『チームメイト。嬉しい事も悩み事も共有して、一緒に子どもを育てる人。』と話していました。講義の中では「なるほど」と頷き共感できましたが、感想を書こうともう一度振り返ってみているときに疑問がわきました。それは、私達指導員は、『子どもを共に育てたい。チームメイト。』という思いでいても、保護者の方はそこを求めているのだろうか?という疑問を抱きました。

現代は、地域や家庭に簡単に頼れる環境ではいことが多くワンオペ育児やアウェイ育児が育児の困りごとになっていると思います。それを緩和することも我々の仕事の一つですので、私個人としては保護者の方と連携を取り一緒に子どもの成長をも守る存在になればと思いましたが、保護者の方々にとって学童の指導員や保育園の先生はどう見えていて、何を求めているのかなということも大切だなと感じました。

グループワークでは、6人全員で1つのグループで先生も入っていただき、グループワークを行うという貴重な体験ができましたが、事例が3つありあまり深くまで話し合うことができなかつたのでもっと話し合う時間をとるか、事例を絞って話し合いができれば良かったと思いました。